

目的

この資料では、Nagios XIがインストールされたマシン上でNagios XIとその関連コンポーネントがどこにあるかについて説明します。Nagios XIのディレクトリ構造はNagios Coreのディレクトリ構造と多少異なります。この違いを理解しておくことは重要です。

対象読者

この資料は、Nagios XI インストールをより良く理解したい、またはカスタマイズを行いたい Nagios XI 管理者を対象としています。

コンポーネント

Nagios XI はいくつかの Core コンポーネントと一緒に配布されます。以下を含みます：

- Nagios Core
- Nagios プラグイン
- PNP
- NDOutils
- Core Configuration Manager
- MRTG

ディレクトリ

Nagios XI をインストールすると、以下の主要ディレクトリが作成されます。

- `/usr/local/nagiosxi`
- `/usr/local/nagios`
- `/etc/nagiosql`
- `/store`

`/usr/local/nagiosxi`

`/usr/localnagiosxi` ディレクトリには主要な Nagios XI インストールを構成する PHP ファイルとスクリプトが含まれます。サブディレクトリとその内容については以下の表のとおりです：

サブディレクトリ	目的
./cron	Nagios ユーザーが cron ジョブとして実行する PHP スクリプトが含まれます。
./etc	ローカルマシンの /nagios URL へのアクセス (Nagios Core、PNP などへのアクセス) を制限するために使用する htpasswd ファイルが含まれます。また、Nagios XI コンポーネントが設定データを保存するために使用する components サブディレクトリが含まれます。
./html	Nagios インターフェースとバックエンドを構成する PHP スクリプトが含まれます。通常、ローカルマシンの /nagiosxi URL を使用してアクセスされます。
./nom	Nagios XI Nonstop Operations Manager のチェックポイントデータが含まれます。チェックポイントは、Nagios Core の直近の既知の良好な構成に安全にロールバックを確保するために作成されます。
./scripts	cron ジョブと Nagios XI インターフェースの両方で使用される PHP と shell スクリプトが含まれます。
./tmp	オペレーションの通常プロセスで作成、使用される一時データを保存するために Nagios XI Web インターフェースが使用します。
./var	Nagios XI cron ジョブが作成したログファイル、各種デーモンの PID ファイル、Nagios XI コンポーネントがランタイムデータを保存するために使用する components サブディレクトリが含まれます。

/usr/local/nagios

/usr/local/nagios ディレクトリには Nagios XI の主要機能を構成するバイナリ、設定ファイル、Nagios XI サブコンポーネントの各種データ、Nagios Core、PNP が含まれます。サブディレクトリとその内容は以下の表のとおりです：

サブディレクトリ	目的
./bin	Nagios Core, NDOUtils, NSCA などのバイナリが含まれます。
./etc	Nagios Core と NDOUtils の設定ファイルが含まれます。
./etc/hosts	監視対象ホストの設定ファイルが含まれます。これらのファイルは NagiosQL によって自動的に生成されます。
./etc/import	このディレクトリに含まれる設定ファイルは、 /usr/local/nagiosxi/scripts/reconfigure_nagios.sh スクリプトを呼び出す XI や外部アプリケーションにより Nagios Core Configuration へ自動的にインポートされます。
./etc/pnp	PNP の設定ファイルが含まれます。

<code>./etc/static</code>	このディレクトリには、Nagios Core の手動でメンテナンスされたファイルまたは静的オブジェクト設定ファイルが含まれる場合があります。このディレクトリ内のファイルは、Nagios Core Configuration Manager にインポートされません。Nagios Core Configuration Manager データベースの外部で設定データを運用したい管理者は、このディレクトリ下でファイルを管理してください。
<code>./libexec</code>	Nagios Core のプラグインが含まれます。
<code>./sbin</code>	Nagios Core CGI が含まれます。
<code>./share</code>	Nagios Core インターフェースで使用されるファイルが含まれます。
<code>./share/perfdata</code>	PNP で作成されるパフォーマンスデータファイルが含まれます。
<code>./share/pnp</code>	PNP 用のテンプレートとインターフェースファイルが含まれます。
<code>./var</code>	Nagios Core と NDOUtils 用のランタイムデータが含まれます。

/etc/nagiosql

/etc/nagiosql ディレクトリは Nagios Core Configuration Manager が Nagios Core 設定バックアップを保存するために使用されます。Nagios Core Configuration Manager が作成したバックアップは、XI サブシステムプロセスにより定期的に自動でトリムされます。Nagios XI 管理者はこのディレクトリの内容を無視してかまいません。Nagios XI は独自に Nagios Core 設定のバックアップスナップショットを `/usr/local/nagiosxi/nom/checkpoints/nagioscore/` ディレクトリに作成します。

/store

/store ディレクトリは Nagios XI が使用する MySQL と Postgres データベースのバックアップを保存するために使用されます。これらのデータベースのバックアップは `/root/scripts` にある cron ジョブスクリプト (root ユーザーで実行) により作成されます。以下のディレクトリに、日次、週次、月次データベースバックアップが保存されます。

```
/store/backups/mysql
/store/backups/postgresql (ver 2014.x 以前のバージョン)
```

これに加えて、Nagios XI GUI から Nagios XI をバージョンアップした場合、Nagios XI の完全なバックアップが以下に保存されます。

```
/store/backups/nagiosxi
```

詳しくは「[バックアップとリストア](#)」ガイドをお読みください。

お問い合わせ

弊社では、Nagios XI に関するご意見、フィードバックをお待ちしております。
Nagios XI についてご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせください。

ジュピターテクノロジー株式会社 (Jupiter Technology Corp.)

住所: 〒183-0023 東京都府中市宮町 2-15-13 第 15 ミツ木ビル 8F

URL: <http://www.jtc-i.co.jp/>

電話番号: 042-358-1250

FAX 番号: 042-360-6221

ご購入のお問い合わせ:

お問い合わせフォーム <https://www.jtc-i.co.jp/contact/scontact.php>

メール sales@jtc-i.co.jp

製品サポートのお問い合わせ:

カスタマーポータル <https://www.jtc-i.co.jp/support/customerportal/>

日本語マニュアル発行日 2017 年 03 月 9 日
本マニュアル原文 Nagios XI – Directory Structure
Updated – February, 2017

ジュピターテクノロジー株式会社